

# Performik-EV システム概要

An Outline of Performik-EV System

田島 弘明\*  
Tajima, Hiroaki

吉田 智也\*  
Yoshida, Tomoya

We have been developing total page make-up system, named Performik-EV, for 2 years. This system is based on the UNIX workstation, for example, SUN, HP, SGI. And we made some success in the traditional page make-up market.

## 1 はじめに

近年、製版業界において短納期化、熟練工の不足、およびデジタルデータによる入稿の増加等の理由により製版作業のコンピュータ処理化が進んでいる。しかしながら従来の製版システムは価格、機能、および処理速度の問題から製版作業工程内の一部の合理化を達成したにすぎず、依然として手作業は残っていた。

本稿では手作業、およびそのシンボルとしてのライトテーブルの全廃を目標として開発してきた Performik-EV システムについてアナログ版下（紙版下）処理、デジタル版下処理、および出力環境に分けて述べる。

## 2 アナログ版下処理

Fig. 1 にアナログ版下処理時のシステム構成を示す。

紙版下は Autokon から、画像データはカラーキャナからそれぞれオンラインで取り込まれ、カラー集版ワー

クステーション CILTY で文字・線画の網伏せ、画像のレイアウトを行い、スキャナからポジフィルム出力される。

また、画像修正が必要な場合は画像処理ワークステーション POSSIRE でレタッチ作業を行い、画像の切り抜きが必要な場合は CILTY 付属の切り抜きソフト、または高度な自動切り抜き機能を有した切り抜きワークステーション CUTART で作業を行い CILTY でレイアウトを行う。

CUTART、POSSIRE に関する詳細な解説は他論文に譲り、ここでは CILTY の特徴を列挙してみる。

- 汎用ワークステーションの採用によるコスト削減
- 日本語メニュー、簡単操作
- 高速処理
- プレーン構造の採用による作業の効率化
- 面付け機能を含んだ完全ポジ出力対応
- 複数ワークステーションを接続した自在なネットワークシステム構築

## コニカ Performik-EV

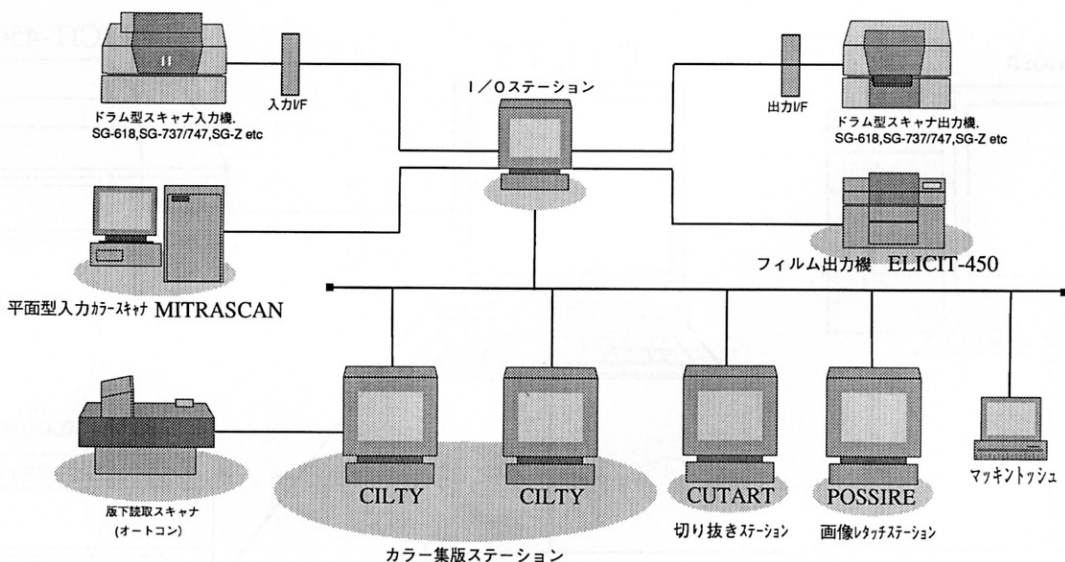


Fig. 1

\*印刷産商販売事業部 企画室 グラフィックアーツセンター

以上の特徴により1社1台から1人1台の電子ライトテーブルとして高い評価を得ている。ちなみに現在1部門としての最大設置実績台数は17台である。

### 3 デジタル版下処理

Fig. 2 にデジタル版下処理時のシステム構成を示す。

マッキントッシュを代表とするDTPシステムからのデータはPostScriptファイルとしてシステムに取り込まれ、ソフトウェアRIPによりラインワークデータに変換される。変換後のデータはCILTY上で追加工、画像のレイアウト等を行った後、スキャナからフィルム出力される。

これまではDTPシステムの能力不足から印刷に耐えうるような高解像度（400 dpi程度）の画像データを扱う場合は製版システムとの連携作業（代表的なものとしてOPIがある）が普通であった。当然ながら当システムも切り抜きを含めたOPIをサポートしているがこの1年のパソコンの能力向上はめざましいものがありシステムの存在意義が疑問視され、実際に欧米ではDTPですべて処理し、RIPを通してイメージセッター出力する形態が普及している。

Performik-EVにおいてもこれらの時流を鑑みてソフトRIPを用いたイメージセッター出力をサポートしている。このRIPはラインワーク変換するものと同一のものであり、漢字フォントを共有することが可能なためRIP環境の統一化が可能となる。

### 4 出力環境

これまで製版システムの出力としては当社も含めてス

キャナの出力部を用いるのが一般的であった。これは、単体分解用スキャナの出力部を用いることによる投資の削減、スキャナの高精度、および高速出力が主な理由である。

しかしながらDTPの普及によりイメージセッター出力に対する要望が高まってきている。

当社イメージセッター（ELICIT）は上記RIPからの出力の他にハードウェアによる網点作成機能を有し、アナログ版下、およびラインワーク化されたデジタル版下データの高速出力にも対応することにより、従来のスキャナの数倍の生産性を持ちながらDTPデータへの柔軟な対応も可能となっている。

また、将来のRIPの高速化、およびCTP、オンデマンド印刷への対応としてラインワークデータのPostScript変換もCILTYでサポートしている。

確認用カラー出力機としてインクジェット方式のEV jetを用意している。A3サイズを400 dpiで出力可能であり将来的には校正刷りの代用もターゲットとしている。

### 5 まとめ

CILTYを中心としたPerformik-EVシステムは、その高生産性と簡単操作により市場において順調に設置台数を伸ばし、システムメーカーとしての当社の地位も認知されてきている。

今後も市場に密着した開発を続けることにより、オープン化されていく市場に対して能動的なシステムを提供していく所存である。

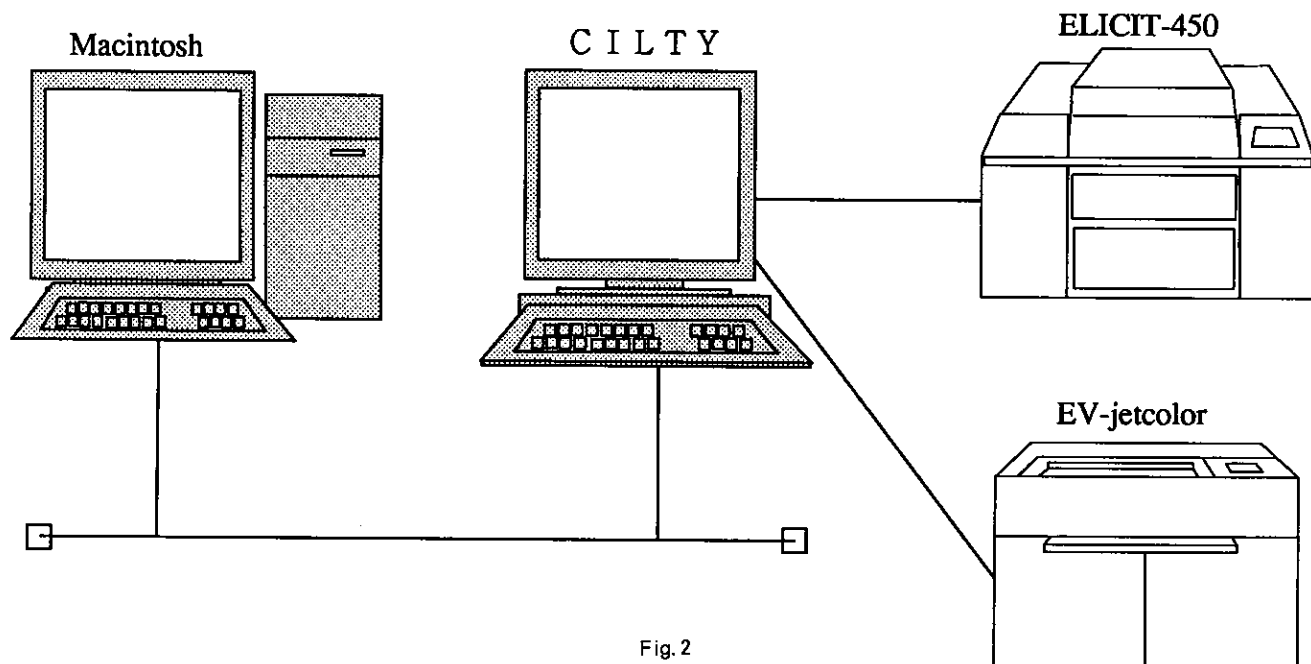


Fig. 2